編集後記

旭川医療センターの雑誌の初刊の完成にあたり、多くの原著論文、症例報告、学会発表、アメリカ留学の帰朝報告を投稿して頂きありがとうございました。また、論文の査読にご協力頂いた方々に感謝申し上げます。以前より当院での医療雑誌を発刊することが非常に大事であると話題になっていました。今回、その思いも含め医局、看護部、各パラメディカル、事務の皆様のご協力により、当院はじめての医療雑誌を無事に発刊することが出来ました。

昨年夏頃、前箭原院長より医学雑誌を発刊してほしいとのお話があり、3月に発行を計画しました。しかしながら、当院で医学雑誌を発刊されておらず、初版の発行の準備は手探りの状況ではじまりました。雑誌名を決定することから始まり、投稿規定作成や雑誌の体裁について多くの決めごとが存在していました。

当院のような市中病院においては、日常診療を恙なくすすめていくことが最初に求められています。病院は多くの部署から成り立っており、皆さんの日々の営みが当院を支えています。

今回旭川医療センター雑誌を発刊する意味をどのようにとらえていくかに思いを巡らせた場合、私たちは医療行為を第一の業務として遂行していくことと並行して、おのおのの仕事を計画、立案し、情報として発信していくことも求められています。その情報発信の場として、学会等の多くの機会が存在しています。さらに論文までまとめ、後世にその営みをつなげていくことも私達の責務と考えられます。本雑誌の発行が当院の Academic な活動の一助となり、当院の臨床、研修、研究を含めた総合力の向上につながることを切に願っています。

２０１５年８月

臨床研究部
遺伝子研究室長　鈴　木　康　博

旭川医療センター医学雑誌

編集委員長
鈴木　康博

編集委員
西村　英夫　藤兼　俊明　藤内　智　木村　隆　山崎　泰宏
平野　史倫　青木　裕之　清野しのぶ　後藤　達也　岡田　令